

広島大学フェニックスセミナー

研究発表会

～未来をつくるカーボンニュートラルイノベーション～

全体テーマ：カーボンニュートラル・エネルギー

CN

水素エネルギー

有機半導体

メタネーション

気候変動

ESG

2050年カーボンニュートラル（以下、CN）実現に向けて、広島大学では様々なアプローチで研究に取り組んでおります。本発表会では、気候変動対策に取り組む重要性を再認識し、解決手段や評価尺度としての研究・技術情報を提供予定です。CNの最新の動向を知りたい方は、ぜひご参加ください。

日時 2025. 9.4 (木)

開催場所 ひろぎんキャリア共創センター

広島市南区西蟹屋一丁目1-18
広島駅から徒歩9分

申込み
・本チラシ右下QRコードから申込み
・フェニックス協力会サイトから申込み

参加料：無料

交流会につきましては、フェニックス協力会非会員の方には、参加費として2,000円頂戴いたします。

研究者・研究シーズリスト

近藤 雅征（瀬戸内CN国際共同研究センター・准教授）
ーアジアにおける温室効果ガス吸排出、及び気候変動の現状

江種 浩文（経済学部・客員講師）
ー太陽光発電の「価値分離」を通じたCO2フリー水素の
低コスト化検討

砂本 礼志（大学院先進理工系科学研究科・D2）
ーアンモニアメタネーション研究

三木江 翼（大学院先進理工系科学研究科・助教）
ー有機半導体を用いた光触媒による太陽光水素製造に関する研究

徐 恩之（大学院人間社会科学研究科・准教授）
ーグリーンウォッシュの尺度開発に関する研究

スケジュール

- 13:15-13:30 開場
- 13:30-14:30
開会挨拶
基調講演
大学院先進理工系科学研究科
市川貴之教授
「広島県における
カーボンニュートラルの動向」
- 14:30-15:45
研究紹介
各研究者の発表
広島銀行 ソリューション営業部
法人ソリューション室
「自動車部品製造における鋳造工程
のカーボンニュートラル推進に向
けた支援」
- 15:45-16:00 休憩
- 16:00-17:00
ポスターセッション
詳細を知りたい研究者のブース
にて、質疑応答
- 17:00-18:00 交流会
- 18:00 終了予定



フェニックス協力会

Hiroshima University's Industry-Academia-
Government-Partnership Network

協力：株式会社広島銀行



techrd@hiroshima-u.ac.jp (事務局)

こちらのQRコードから
お申込みいただけます→



研究者紹介



市川貴之（大学院先進理工系科学研究科・教授）

材料科学・材料工学を専門としています。ターゲットとしては、エネルギー変換およびエネルギー貯蔵を高効率に実現する水素貯蔵材料、二次電池の電極材料、水素やアンモニアの製造、蓄熱や水素ガスの昇圧を効率的に行う水素吸蔵合金など、反応のメカニズム解明を通して、機能を向上すべく研究開発を行っています。



近藤 雅征（瀬戸内CN国際共同研究センター・准教授）

地球温暖化現象を理解し、高精度な近未来予測を目指した研究活動を行っています。1. 近代期（NEO）の人為起源による地球温暖化現象下で、今、何が起きているのかを理解する 2. 地球史における大規模な生物絶滅危機から、過去（PALEO）の地球温暖化現象下で何が起こったのかを理解する 1と2を繋ぐことで、地球温暖化現象をより深く理解できると考えています。



江種 浩文（経済学部・客員講師）

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、水素エネルギーとカーボンリサイクルを主軸とした研究に取り組んでいます。

特に、再生可能エネルギーを用いたグリーン水素の製造・利活用における経済的合理性の分析や、太陽光発電の価値分配モデルの構築など、技術と経済を横断する視点で研究を推進しています。



三木江 翼（大学院先進理工系科学研究科・助教）

有機エレクトロニクスのための新しい有機半導体材料を開発しています。特に、半導体ポリマーの合成研究を精力的に行っており、有機薄膜太陽電池や有機電界効果トランジスタ、また最近では、光触媒への応用に取り組んでいます。



徐 恩之（大学院人間社会科学研究所・准教授）

研究・教育分野は、マーケティングマネジメントと国際マーケティングです。営業組織や営業担当者のマーケティング活動と顧客に対する志向の管理方法に興味を持ち、質問票調査から得られたデータの分析に基づいた定量研究を行ってきました。最近では、日本の製造企業の標準化、企業ブランド管理、製品戦略といった海外市場でのマーケティング活動に視野を広げて研究しています。